

資源系若手シンポジウム 2025 開催案内

資源・素材学会関西支部および探査部門・掘削情報委員会の合同行事としまして、下記の要領にて資源系若手シンポジウムを開催いたします。主に博士学生、ポスドク研究員、助教の方々を対象とし、学会発表よりも気軽に自身の研究テーマや最新の測定装置・技術についての報告と意見交換を通して、今後の研究の発展につながるネットワーク構築の機会になることを目的としております。

本年度は、吉光奈奈助教（京都大学）の資源・素材学会長期プロジェクト(PJ)第二期採択課題である「地熱貯留層の監視を目的とした地震波と能動弾性波による広域モニタリング」と連携し、関連する研究者二名を講演者としてお招きします。本プロジェクトは別府地熱地帯を対象に、微動観測と解析を実施するもので、民間企業において微動観測とその解析に携わってきた土田氏と、吉光助教と別府地域にて協働しております、地熱解析につながる実験研究をフィールドにつなげようとしている澤山氏の両名に講演をいただきます。

また、関西支部行事「外国人研究者を囲む会」とも連動し、CSIRO（連邦科学産業研究機構）研究員のZhang Lequn 氏にもご講演を頂きます。そのほか、一般講演として九州大学やJAMSTEC(海洋研究開発機構)からも参加を頂く予定です。学生や研究員・助教の先生方による発表も5件程度募集いたします。

参加希望の方は1月5日までに懇親会参加の希望まで合わせて久保（京都大学：kubo.taiki.3n@kyoto-u.ac.jp）までご連絡ください。当日の聴講参加は無料です。

開催：2026年1月9日（金）14時—18時

場所：桂キャンパス グローバル人融ホール

参加費無料（懇親会費は4～5000円程度の見込み）。発表希望者で関西支部会員の場合は旅費補助あり

■ 招待講演（講演者敬称略）

土田琴世（阪神コンサルタンツ）

「愛媛県西条周辺の常時微動アレイ観測による地下速度構造のモデル化について」

澤山和貴（京都大学・別府地球熱学研究施設）

「浸透率と電気比抵抗の関係：ラボからフィールドに向けて」

■ 資源・素材学会関西支部「外国人研究者を囲む会」講演（17:30～より）

Zhang Lequn（CSIRO, オーストラリア連邦科学産業研究機構）

「Neural Kriging for Rare Earth Discovery under Sparse and Biased Sampling」

講演者プロフィール：<https://people.csiro.au/z/l/lequn-zhang>